

.....  
**館園名** : 浦安市郷土博物館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 2001年04月01日

### 所在地

- ・ 〒279-0004 千葉県浦安市猫実1-2-7

### 公式サイト

- ・ <http://kyoiku.city.urayasu.chiba.jp/hakubutukan/index.html>

### 設立主体

- ・ 浦安市

### 運営主体

- ・ 浦安市

### 設立目的

- ・ 郷土博物館（1980年開館）での活動が、収蔵・展示・学習スペース等の不足から制限され、新しい博物館建設への気運が高まり開館した市民参加型の博物館。

### 展示概要

- ・ 展示コンセプトは、「見て、ふれて、感じて」。
- ・ 屋外展示場「浦安のまち」：昭和27年頃の浦安の町並みを再現。
- ・ 船の展示室「海を駆ける」：漁師の魂である木造船や船を造る技術を紹介。
- ・ テーマ展示室「海とともに」：浦安の自然・民俗・歴史をテーマ別に展示。

### 活動概要

- ・ 企画展、講座、講演会、ベカ舟乗船・海苔すき体験などの事業を実施。
- ・ ミュージアムショップにて、各種刊行物、マスコットキャラクター（あっさり君）入りグッズを販売。

### 延床面積

- ・ 4,917.64 m<sup>2</sup>

### 全職員数

- ・ 11名（2004年度）

### 年間運営費

- ・ 約100,000千円

### 総資料点数

- ・ 20,045点（2004年）

### その他

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：博物館ボランティア「もやいの会」

### 活動目的・経緯

- ・ 2000年、博物館ボランティアの会員を募集。
- ・ 2001年、人と人、ふるさと浦安と人、市民と博物館を結ぶことを目的として、活動開始。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 312名（2004年）
- ・ 男性：142名、女性：170名（2004年）
- ・ 平均年齢66歳：男性67歳、女性65歳（2004年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤1名・その他（ボランティア対応）10名  
（ボランティア事業、および対応は、全職員で行っている。）

### 活動の種類

- ・ ①展示解説、②乗船体験の船頭、③昔遊びの講師、④着付けの講師、⑤体験教室の講師、⑥授業の講師。

### 活動その他

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート 展示解説 他

### ◇活動開始年

- ・ 2001 年

### ◇活動人数

- ・ 312 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ①展示解説:屋外展示場「浦安のまち」における展示解説(昔の生活道具・漁具などの説明など)。
- ②乗船体験の船頭:べか舟乗船体験の船頭。
- ③昔遊びの講師:昔遊び(ベーゴマ、木ゴマ、お手玉、おはじき、めんこなど)の講師。
- ④着付けの講師:ゆかたの着付けの講師。
- ⑤体験教室の講師:体験教室(竹細工教室、郷土料理体験教室など)の講師。
- ⑥授業の講師:博物館で行われる授業(昔の生活体験、浦安の漁業を学ぼう)などの講師。

### ◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動(休館日を除く)。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア事務経費として、年間 370 万円を計上。
- ・ ユニフォーム貸与。
- ・ ボランティア室、給茶器あり。コップから工具まで、一通り備品を揃えている。

### ◇運営(シフト 等)

- ・ 担当職員が、個別に連絡。

### ◇交流(情報、組織 等)

- ・ ボランティアどうしの交流は、毎日行われている。
- ・ 館からの情報は、2ヶ月に1度「もやいの会だより」にて発信。

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 条件:会の趣旨に賛同する方。
- ・ 定年制、任期制なし。

### ◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 職員が企画して、年に1度、研修会を実施。他の館の視察と、その地域で活動しているボランティアとの交流を図っている。経費は、館がおよそ半分を持つ。

### ◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 保険は、市役所で加入。
- ・ 活動がお昼にまたがる場合、800円以内で昼食を支給。

### ◇評価

- ・ 年度末にお礼の品を贈る。
- ・ 2ヶ月に一度、会報誌や博物館ニュースなどで、会員の活動を紹介。

◇課題と展望

- ・ 正月飾りの手配、体験学習で使う材料の確保、学校・団体の多く入っている日に合わせた出席など、自分たちの博物館であるという意識が高まっている。その意識が持続するよう、活動の意義を理解して頂くとともに、活動を評価することが、職員に課せられた責務。

.....

**館園名** : 鎌ヶ谷市郷土資料館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・1987年04月01日

**所在地**

・〒273-0124 千葉県鎌ヶ谷市中央1-8-31

**公式サイト**

・<http://www2.city.kamagaya.chiba.jp/dirkama/shiryokan/kyodo.html>

**設立主体**

・鎌ヶ谷市

**運営主体**

・鎌ヶ谷市

**設立目的**

・近年の急激な都市化に伴い失われつつある貴重な郷土の歴史・民俗資料を体系的に収集・保管・研究しその成果を展示して郷土学習の場として利用させる為。

**展示概要**

・原始・中世・近世・近現代・民俗・自然分野の展示。  
・ビデオ・刊行物コーナーの設置。

**活動概要**

・古文書・民具等の調査・収集活動      ・展示活動      ・講座・観察会等の教育普及活動  
・出版活動      ・市史編さん活動

**延床面積**

・668.67 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・4名（2005年1月現在）

**年間運営費**

・26,392,000円（2003年度）

**総資料点数**

・436点（2004年4月現在） 展示資料

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：郷土資料館ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・資料館で行う講座等の補助を行う為にボランティアを募集することになった。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 1名（2005年1月現在）
- ・ 男性：1名、女性：0名
- ・ 平均年齢71歳：男性71歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：郷土資料館
- ・ 担当人数：常勤職員4名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 講座の補助（受講者受付など）。
- ・
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

### 関連する出版物

- ・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

.....

**館園名** : 旧堀田邸

**1. 施設の概要**

**開館年月日 (西暦)**

・ 1999 年 11 月 01 日

**所在地**

・ 〒285 -0025 千葉県佐倉市鏑木町 274 番町

**公式サイト**

・ <http://>

**設立主体**

・ 佐倉市

**運営主体**

・ 佐倉市

**設立目的**

・ 佐倉藩主であった堀田正倫の邸宅である旧堀田邸を保存し、広く公開する。

**展示概要**

・ 建物の保存整備の際に出土した建物の遺物や堀田家に残された文書を展示。

**活動概要**

・ 上記の展示のほか、明治期の庭師、伊藤彦右衛門による庭園部分は「さくら庭園」として常時開放されており、自由に見学・散策ができる。

**延床面積**

・ 751.18 m<sup>2</sup>

**全職員数 (常勤職員)**

・ 0 名 ( 2005 年 1 月現在)

**年間運営費**

・ 8,000,000 円 (2003 年度)

**総資料点数**

・ 点 ( 年 月現在)

**施設その他**

・ 平成 1 1 年秋に大規模な補修復元工事を終えた。

## 2. ボランティア活動 名称：旧堀田邸ガイドボランティア

### 活動目的・経緯

- ・旧堀田邸一般公開時に行った邸内案内が好評であったため、その後改めてボランティア団体として邸内の案内をはじめた。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 33 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 23 名、女性： 10 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称： 佐倉市教育委員会文化課
- ・ 担当人数：常勤職員 3 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・旧堀田邸に土・日・祝常駐し、希望者に案内を行っている。
- ・随時、依頼により、旧堀田邸やその他文化財施設の案内を行っている。
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・会長1名、会計2名をおき、会で運営・活動を行っている。
- ・年に一度総会を行う。
- ・二ヶ月に一度定例会を行う。

### 関連する出版物

- ・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・



## 活動個別シート① 活動名：堀田邸案内

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

### ◇活動人数

- ・ 33 名（ 2005 年 1 月現在）

### ◇活動内容

- ①旧堀田邸に、土・日・祝常駐し、希望者へ無料で案内を行っている。
- ②随時依頼により、旧堀田邸やその他の文化財施設の案内を行っている。

### ◇活動日

- ・ 毎土・日・祝、依頼があった場合は平日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 常駐日は控え室として、邸内の一室を利用。

### ◇運営（シフト 等）

- ・

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 類似団体との懇親会。2004 年度には、市川市の案内人の会との交流会を実施したが、交流崎は特に決まっていない。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ①市からの広報誌。
- ②会員からの推薦。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 春と秋に一回ずつガイドのいる施設へ現地研修を実施。  
（戸定邸、明治村、江戸東京博の東京建物園等へ行っている）

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険は、市でまとめて加入。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 会全体のガイドの質を均一にする必要があり、研修、勉強会を通じ会員相互に高めあっているところである。

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

**1. 施設の概要**

**開館年月日 (西暦)**

・ 1983 年 03 月 16 日

**所在地**

・ 〒285 -8502 千葉県佐倉市城内町 117 番地

**公式サイト**

・ <http://www.rekihaku.ac.jp>

**設立主体**

・ 文部科学省

**運営主体**

・ 大学共同利用期間法人 人間文化研究機構

**設立目的**

・ 大学における学術研究の発展および資料の公開等一般公衆に対する教育活動の推進に資する。わが国の歴史資料、考古資料および民俗資料の収集、保管および公衆への併覧並びに歴史学、考古学および民俗学に関する調査研究を行う。

**展示概要**

・ 常設の総合展示は、日本の歴史・文化の流れから、現代からみて重要なテーマを選び、それらを生活史において重点をおいて構成。実物資料のみならず、複製資料、復元模型などを取り入れ、効果的な展示を行う。また、テーマに沿った企画展示を行う。

**活動概要**

・ 歴史・考古・民俗についての実物資料の収集、保存。大学院教育、諸外国の研究機関との交流を行う。

・ 歴博講演会や歴博フォーラムなどの開催。児童や生徒向けのプログラム「歴博探検」や各種体験教室などの開催。

・ 図録のほか、研究報告、年報、研究業績集などの出版。

**延床面積**

・ 35,548 m<sup>2</sup>

**全職員数 (常勤職員)**

・ 90 名 ( 2004 年 5 月現在)

**年間運営費**

・ 1,670,736,000 円 (2003 年度) 人件費のぞく

**総資料点数**

・ 198,132 点 ( 2004 年 5 月現在)

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：くらしの植物苑体験教室ボランティア 企画展ボランティアなど

### 活動目的・経緯

・体験教室ボランティア・・・植物と人との関わりについて体験を通して学んでもらうという「くらしの植物苑体験教室」の主旨を参加者の小学生、中学生に正しく理解してもらえるように体験の手助けをする。2002年第1回から継続して活動。

・企画展ボランティア・・・企画展によって活動目的は異なる。企画展ごとに募集する。今年度は、「海を渡った華花」展、「明治維新と平田国学」展のボランティアなど。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

#### 体験教室ボランティア

- ・ 13 名 ( 2005 年 1 月現在)
- ・ 男性： 4 名、女性： 9 名
- ・ 平均年齢 57.92 歳：男性 67.25 歳、女性 53.78 歳

#### 「海を渡った華花」展ボランティア

- ・ 76 名 ( 2004 年 7～9 月現在)
- ・ 男性： 45 名、女性： 31 名
- ・ 平均年齢 63.07 歳：男性 65.42 歳、女性 59.64 歳

#### 「明治維新と平田国学」展ボランティア

- ・ 46 名 ( 2004 年 10～12 月現在)
- ・ 男性： 34 名、女性： 12 名
- ・ 平均年齢 66.46 歳：男性 67.53 歳、女性 63.42 歳

#### ボランティア担当職員 ( 2005 年 1 月現在)

- ・ 部局名称： 広報サービス室
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（研究支援推進員） 1 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・体験教室ボランティア 体験の準備、整理作業、体験の補助
- ・企画展ボランティア 企画展の内容による。「海を渡った華花」展では、特定の展示資料の解説や体験の指導、「明治維新と平田国学」展では、展示室で古文書の読み下しなどの解説を行った。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・特になし

### 関連する出版物

- ・体験教室ボランティア「ボランティア通信」

### 関連するHP

- ・http://

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・特になし

## 活動個別シート① 活動名：体験教室ボランティア

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

### ◇活動人数

- ・ 13 名（ 2005 年 1 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 体験の準備、整理作業、体験の補助。

### ◇活動日

- ・ 体験教室の開催日（5,9,11,1,3月の第四土曜日）
- ・ ボランティア研修（4,6,10,12,2月の第四土曜日）

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 体験教室の予算の中で運営している。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 三班にわかれ、準備・片付け、記録、受付を分担する。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 担当の係から活動ごとに連絡。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 三月にホームページや友の会、観察会参加者を通じて募集。
- ・ 体験教室五回、研修五回にすべて参加できる方。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 体験教室開催月の前月の第四土曜日に次回の研修を行う。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は館が負担）。
- ・ 交通費、食費なし。

### ◇評価

- ・ 年度終わりに感謝状を贈る。

### ◇課題と展望

- ・ 次年度より体験教室というかたちの事業はなくなるので、くらしの植物苑のボランティアとして豊富な知識と体験を生かしてもらうように検討中。
- ・ メンバーが固定化しているので、新しい展開を行う必要がある。

### ◇その他

- ・ 特になし。

.....

**館園名** : 袖ヶ浦市郷土博物館

**1. 施設の概要**

**開館年月日 (西暦)**

・ 1982 年 11 月 29 日

**所在地**

・ 〒299 -0255 千葉県袖ヶ浦市下新田 1133 番地

**公式サイト**

・ <http://www.sodegaura.ed.jp/sodehaku/>

**設立主体**

・

**運営主体**

・

**設立目的**

・ ふるさとの袖ヶ浦をさぐるとともに、強く地域と結びつきながら、地域の資料・情報を未来へと伝える。

**展示概要**

・ 博物館資料 (考古・歴史・民俗・生活・書籍など) の収集とその展示。展示室はテーマごとに分かれている。また、特別展示室では特別展示を行う。

**活動概要**

・ 資料収集、展示活動、調査研究活動のほか、教育普及活動として史跡めぐり、お飾りづくり、各種講座などの開催。小中学校や近隣博物館との連携。図書室、体験学習室、研修室など。屋外展示施設として、「アクアラインなるほど館」などがある。

**延床面積**

・ 2680.20 m<sup>2</sup>

**全職員数 (常勤職員)**

・ 7 名 ( 2004 年 12 月現在)

**年間運営費**

・ 64,714,000 円 (2003 年度) 人件費を除く

**総資料点数**

・ 点 ( 年 月現在)

**施設その他**

・

2. ボランティア活動 名称：1. 袖ヶ浦市社会教育推進委員  
2. 袖ヶ浦市郷土博物館市民学芸員

活動目的・経緯

・「開かれた博物館」「地域と連携する博物館」をめざし、市民が知識や技術を発揮できる場、同時に学びの場をつくりあげるとともに地域づくりに貢献してもらう目的で設置。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 46 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 24 名、女性：22 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ①教育普及事業全般に関する補助（企画から実施まで）。1987年から。
- ②調査活動、資料整理。2004年11月から。
- ③ガイドボランティア、及び展示の企画運営。2004年11月から。
- ④イベントと地域連携の企画。2004年11月から。
- ⑤上総掘り技術伝承研究会。2004年4月から。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・市民学芸員については、現在グループ活動をスタートさせようとしているところのため、役員等については未定となっている。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www.sodegaura.ed.jp/sodehaku/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

## 活動個別シート① 活動名：社会教育推進委員

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1987 年

### ◇活動人数

- ・ 10 名（ 2004 年 12 月現在）

### ◇活動内容

・教育普及事業の企画、実施の補助。（例、自然と歴史の散策会（3回）、やさしい生きもの学（6回）、博物館講座「袖ヶ浦学」（10回）、上総掘り体験学習（1回2日間）、ミュージアムフェスティバル（1回2日間）、古代人くらしのセミナー（1回））

### ◇活動日

- ・ミュージアムフェスティバルについては準備から一週間程度。
- ・自然と歴史の散策会は下見ともで6日。
- ・その他は当日のみ。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・報償金として年額30,000円。

### ◇運営（シフト 等）

- ・随時。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・年3回、推進員会議。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・社会教育に深い理解を示し豊富な経験を有するもので、袖ヶ浦市教育委員会が実施する社会教育に必要な専門的知識の研修を終了したもののうちから教育長が委嘱する。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・推進員全体研修会（対象100名）年2回。
- ・博物館担当推進員研修会、年2回。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・報償金30,000円。

### ◇評価

- ・市生涯学習推進大会において感謝状を贈呈する（10年以上の活動のみ）。

### ◇課題と展望

・活動の場が自らの学習の場となりえていない傾向がみられる。  
・市民学芸員・友の会との活動の区分→表面にあらわれるトラブルはないが、互いにとまどっている様子が見られることがあった。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート② 活動名：袖ヶ浦市郷土博物館市民学芸員

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

### ◇活動人数

- ・ 36 名（ 2004 年 12 月現在）＊推進員とのダブリ 1 名あり。

### ◇活動内容

- ・ グループ活動および全体会議、個人会議。
- 1. ガイドボランティア&展示の企画運営（ガッテングループ）
- 2. 資料整理と調査（整調グループ）
- 3. イベントと地域連携の企画（絆グループ）
- 4. 上総掘り技術伝承研究会（鶴塾グループ）

### ◇活動日

- ・ 例会（毎月最終土曜日 9:00～、1.3.4 グループ）（毎月第三土曜日 9:00～2 グループ）、
- ・ 年間四回の代表者打ち合わせ会他

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティアスペース。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 活動日と同じ。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 例会及び全体会、ボランティアスペースの掲示板、黒板等の利用。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年 1 回、広報、タウン誌、HP 他で募集。特定技能習得者については個別に募集。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年 6 回の研修。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険のみ、市総合災害補償に登録。

### ◇評価

- ・ 特になし。

### ◇課題と展望

- ・ 他のボランティアグループとの調整が必要か。
- ・ 他、活動を開始したばかりなので、記載事項なし。

### ◇その他

- ・



.....

**館園名** : 館山市立博物館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

- ・ 1983年11月23日

**所在地**

- ・ 〒294-0036 千葉県館山市館山 351-2

**公式サイト**

- ・ <http://www3.to/hakkenden>

**設立主体**

- ・ 館山市

**運営主体**

- ・ 館山市教育委員会

**設立目的**

- ・ 館山市に残る人々のながい歴史と生活の証明としての文化財を適切に保存し、新たな知的生産に供するために博物館を設置し、文化の香り高い館山市づくりに資する。

**展示概要**

- ・ 館山市の歴史と民俗をテーマとする。とくに南房総の中核都市としての館山市をつくりだした戦国武将里見氏の歴史と、里見氏をモデルに創作された南総里見八犬伝の物語の世界をメインに紹介している。

**活動概要**

- ・ 地域資料と里見氏・八犬伝関連資料の収集。
- ・ 地域の資料を掘りおこし、地域の特性が出るテーマで企画展を実施。
- ・ 八犬伝の原典や地域の古文書を読む講座や地域の歴史文化財探訪、体験学習などの教室を開催。

**延床面積**

- ・ 2,450 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

- ・ 5名（2004年12月現在）

**年間運営費**

- ・ 26,729,843円（2003年度）

**総資料点数**

- ・ 25,338点（2004年12月現在）

**施設その他**

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：古文書整理ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 博物館主催の古文書講座参加者が、読解力の向上と実物資料に親しむ機会にするとともに、博物館収蔵資料の整理作業を通して博物館運営に加わる機会とした。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 12名（2004年12月現在）
- ・ 男性：10名、女性：2名
- ・ 平均年齢 71歳：男性 69歳、女性 73歳

### ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：学芸係
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 古文書整理。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

### 関連する出版物

- ・ なし

### 関連するHP

- ・ <http://> なし

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

## 活動個別シート 活動名：①古文書整理ボランティア

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

### ◇活動人数

- ・ 12 名（2004 年 12 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 博物館収蔵古文書の整理作業。

### ◇活動日

- ・ 各人、月に 2～4 回。班に分かれ、活動日は班ごとに決める。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 消耗品を支給。
- ・ 作業室がある。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 4 班に分かれて作業を行っている。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 古文書講座参加者より随時参加受付。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ なし。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。

### ◇評価

- ・ なし。

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

.....

**館名** : 千葉県立安房博物館

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日（西暦）

・1973年11月23日

#### 所在地

・〒294-0036 千葉県館山市館山1564-1

#### 公式サイト

・<http://ww.chiba-muse.or.jp/AWA/index.htm>

#### 設立主体

・千葉県

#### 運営主体

・財団法人千葉県立社会教育施設管理財団

#### 設立目的

・「房総の海と生活」を主要なテーマとして、海洋民俗資料を中心に収集、保管・研究し、その成果を展示・普及などの活動を行う。

#### 展示概要

・国指定重要民俗文化財「房総半島の漁撈用具」、千葉県指定有形民俗文化財「房総半島の万祝及び紺屋製作用具」を柱として、房総半島の漁撈に関連する民族・歴史資料、伝統工芸資料などを常設展示する。

#### 活動概要

- ・房総や漁撈に関する資料で年度毎にテーマを設定し、年1回の企画展を開催。
- ・企画展以外に、収蔵資料を中心とした収蔵資料展を年3回程度開催。
- ・地域の歴史や生活をテーマとした安房学講座、各種体験講座を含む博物館教室、子どもや親子を対象とした海の日フェアなどを実施。
- ・企画展図録、「博物館便り」などを発行。

#### 延床面積

・3,557.78 m<sup>2</sup>（本館・収蔵庫）

#### 全職員数（常勤職員）

・12名（ 年 月現在）

#### 年間運営費

・83,000,000円（2003年度）

#### 総資料点数

・約8,000点（ 年 月現在）

#### 施設その他

・1997年度に、本館施設がリニューアルオープン、2001年度に千葉県水産共同実習所生態観察室を統合、一般公開。

## 2. ボランティア活動 名称：安房学ボランティア・櫓漕ぎボランティア

### 活動目的・経緯

・2000年1月以来、月1回のペースで、房総・安房地域の歴史・自然テーマとした講演会を「安房学講座」として実施しているが、この事業の企画運営を地域の市民参加により行うことを目的としてボランティア活動が導入された。

また、2003年7月以来、体験講座「櫓漕ぎ体験」の指導員についても、博物館事業に理解があり、櫓漕ぎの技術を持つ市民にボランティアとして協力していただいている。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 11名（2005年1月現在）
- ・ 男性：8名、女性：3名
- ・ 平均年齢64歳：男性67歳、女性57歳

### ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：学芸課
- ・ 担当人数：常勤職員1名（兼務）・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①安房学講座の企画・運営。
- ・ ②体験学習講座の運営補助。
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・安房学講座の当日などに、月1回程度の割合で全体集会を実施し、活動内容などを検討。

### 関連する出版物

- ・ボランティアの出版物については特になし。

### 関連するHP

- ・当館のボランティアに関するホームページは特になし。

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・平成16年度に、地元の語り部の会「さくら貝」やNPO団体「海辺の鑑定団」などが、当館会議室において、発表会や体験講座を開催している。

活動個別シート 活動名：①安房学ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年 1 月

◇活動人数

- ・ 9 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 安房学講座の企画・運営。

◇活動日

- ・ 各月の安房学講座開催日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 館までの交通費支給、館予算でボランティア保険へと加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 全体に高齢化が進んでおり、若い人々の参加が望まれる。

◇その他

- ・

## 活動個別シート 活動名：②櫓漕ぎボランティア

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年 7 月

### ◇活動人数

- ・ 2 名（2005 年 1 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 7 月に実施する体験講座「和船の櫓漕ぎ体験」で、参加者に対し櫓漕ぎの技術的な指導を行う。

### ◇活動日

- ・ 年 1 回、体験講座当日。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

### ◇運営（シフト 等）

- ・

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 館までの交通費支給、館予算でボランティア保険へと加入。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 60 代の方々で行っているのが現状であり、若い世代の参加と技術伝承の必要がある。

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 千葉県立上総博物館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1971年01月15日

### 所在地

- ・ 〒292-0044 千葉県木更津市太田2-16-2

### 公式サイト

- ・ <http://www.chiba-muse.or.jp/KAZUSA/>

### 設立主体

- ・ 千葉県

### 運営主体

- ・ (財)千葉県社会教育施設管理財団

### 設立目的

- ・ 郷土の歴史や文化を正しく理解し、新しい文化を創造する拠点施設として設置された県立博物館の第1号館。

### 展示概要

- ・ 常設展示テーマ「くらしのなかの技術」: 原始・古代から連綿と続けられてきた人々のくらしを支えてきた技術を取り上げている。とくに、かつて千葉県の重要な産業であった海苔養殖の資料や、水利技術としての上総掘りなどを紹介。

### 活動概要

- ・ 企画展、収蔵展、子供体験教室、講習会、講演会を開催。
- ・ 館報(年2回)、展覧会図録を出版。

### 延床面積

- ・ 2,032 m<sup>2</sup>

### 全職員数

- ・ 8名

### 年間運営費

- ・ 100,000千円(人件費含む)

### 総資料点数

- ・ 13,500点

### その他

- ・



## 2. ボランティア活動 名称：千葉県立上総博物館ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 参加者の地域再発見の機会を提供するとともに、生涯学習時代に向けての博物館と利用者との新たな関係の構築を目指す。
- ・ 1997年度の県民参画事業を出発点としている。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 20名（2004年）
- ・ 男性：11名、女性：9名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課 担当人数：常勤 1名・その他（ ）名

### 活動の種類

- ・ ①調査研究、②収蔵品の整理、③情報処理、④展示会の補助、⑤講座の補助。

### 活動その他

- ・ 館により運営。
- ・ HP等で募集。
- ・ 任期1年。
- ・ 保険に加入。
- ・ 交通費・食費を実費支給。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート ①調査研究

### ◇活動開始年

- ・ 2000 年

### ◇活動人数

- ・ 10 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 考古資料の整理を実施しながら、研究を行う。

### ◇活動日

- ・ 月 2 日程度。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

### ◇運営 (シフト 等)

- ・

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・ 資料整理の成果を、展示会にて発表している。

## 活動個別シート ②収蔵品の整理

### ◇活動開始年

- ・ 2000 年

### ◇活動人数

- ・ 10 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 考古資料の整理。

### ◇活動日

- ・ 月 2 回程度。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

### ◇運営 (シフト 等)

- ・

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

### 活動個別シート ③情報処理

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 2 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ HP 作成等のためのアドバイスを行う。

◇活動日

- ・

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・ HP のアクセス数が増加した。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

## 活動個別シート ④展示会の補助

### ◇活動開始年

- ・ 1998 年

### ◇活動人数

- ・ 4 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 展示会のための情報収集。
- ・ 展示作業の補助。

### ◇活動日

- ・ 不定期。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

### ◇運営 (シフト 等)

- ・

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ⑤講座の補助

### ◇活動開始年

- ・ 2002年

### ◇活動人数

- ・ 5名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ 「勾玉つくり」講座の補助。

### ◇活動日

- ・ 不定期。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

### ◇運営(シフト 等)

- ・

### ◇交流(情報、組織 等)

- ・

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

### ◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・

### ◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 千葉県立美術館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1974年10月23日

### 所在地

- ・ 〒260-0024 千葉県千葉市中央区中央港1-10-1

### 公式サイト

- ・ [www.chiba-musa.or.jp/ART/](http://www.chiba-musa.or.jp/ART/)

### 設立主体

- ・ 千葉県

### 運営主体

- ・ 千葉県社会教育管理財団

### 設立目的

- ・ 「みる・かたる・つくる」を運営の方針とし、県民の美の広場として、美術に関するセンター的役割を果たすと同時に、国内外の美術交流を図り、千葉県の文化を生み出す拠点の1つを目指して開館。

### 展示概要

- ・ 近現代美術に焦点を当て、千葉県ゆかりの美術家をはじめ、国内外の美術家の作品の体系的に収集。浅井忠とその子弟、金工家・香取秀真など、日本画・洋画・彫塑・版画・工芸・書など2,200点、その他資料約1,600点を収蔵。
- ・ これらの収蔵作品をテーマに基づいて順次展示。

### 活動概要

- ・ アート・コレクション展、企画展、講演会、実技講座を開催。

### 延床面積

- ・ 10,664 m<sup>2</sup>

### 全職員数

- ・ 17名

### 年間運営費

・

### 総資料点数

・

### その他

・

## 2. ボランティア活動 名称：ケンピ・チルドレン・サポート・クラブ（KCSクラブ）

### 活動目的・経緯

- ・ ワークショップ事業等の促進と活性化を図り、学生サポーターの活動支援を通じ、こどもから大人まで幅広く親しまれる美術館の具現化を図るため、2002年度に開始。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 8名（2005年4月現在）
- ・ 男性：0名、女性：8名（2005年4月現在）
- ・ 平均年齢29歳：男性 歳、女性29歳（2005年4月現在）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：サポート係 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①ワークショップの準備・運営のサポート。

### 活動その他

・

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

・



## 活動個別シート 活動名：ワークショップの準備・運営のサポート

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002年

### ◇活動人数

- ・ 8名（2005年4月現在）

### ◇活動内容

- ・ ワークショップ（創作体験学習）の準備および運営のサポート活動。

### ◇活動日

- ・ ワークショップ開催日に活動。2005年度に、7回開催予定。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

### ◇運営（シフト 等）

- ・

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資格：県内の大学生を原則とする（県外大学生も可とするが、要面談）。子どもたちと一緒に創作活動することに興味・関心のある大学生。美術館教育普及活動に興味関心のある大学生。
- ・ 広報 館内ポスターで募集。
- ・ 募集期間：平成17年（2005年）2月1日～3月末。
- ・ 登録人数：10名（定員になり次第、募集は中止）。
- ・ 任期 1年間。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ サポーターの活動を原因として発生した当該サポーターの損害については、サポーターの自己責任を原則とする。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 千葉県立房総のむら

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1976年06月25日（風土記の丘エリア） 1986年04月01日（ふるさとの技体験エリア）

### 所在地

- ・ 〒270-1506 千葉県印旛郡栄町竜角寺1028

### 公式サイト

- ・ <http://www.chiba-muse.or.jp/MURA/>

### 設立主体

・

### 運営主体

・

### 設立目的

- ・ 房総の伝統的な生活様式や技術を来館者が直接体験するとともに、県内各地から出土した遺物や、武家・商家・農家などの展示を通して歴史を学んでいただくことを目的として開館。

### 展示概要

- ・ 「歴史と自然を学ぶ 風土記の丘エリア」：資料館では、原始・古代・中世の遺跡から出土した考古関係資料を収蔵・展示。周囲には、県内有数の規模を誇る竜角寺古墳群が所在し、風土記の丘として整備されている。
- ・ 「ふるさとの技体験エリア」：江戸時代後期から明治初期における房総の商家・武家屋敷・農家などを当時の景観・環境を含めて再現するとともに、展示だけでなく実演や来館者自らが直接体験することによって、伝統的技術や生活様式を学ぶことができる。

### 活動概要

- ・ 企画展、講演会、学校支援事業（小中学校を中心とした体験学習、教職員研修会の開催）、友の会活動を実施。

### 延床面積

- ・ 約51ha（敷地面積）

### 全職員数

・

### 年間運営費

・

### 総資料点数

・

### その他

・

## 2. ボランティア活動 名称：

### 活動目的・経緯

- ・ 1976年7月、活動開始。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 23名（2005年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課長 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①外国語通訳ガイド（GUIDE こんにちは）、②竪穴住居復元サポーター。

### 活動その他

- ・ 友の会会報誌を発行。
- ・ 友の会会報で呼びかける。
- ・ 条件：友の会会員であること。
- ・ 定年制、任期制なし。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート ①外国語通訳ガイド（GUIDE こんにちは）

### ◇活動開始年

- ・ 2003 年

### ◇活動人数

- ・ 10 名（2005 年）

### ◇活動内容

- ・ 外国人観光客に対し、主に英語で展示・施設概要についてのガイドを行う。

### ◇活動日

- ・ 事前予約にて受付、随時ガイドを行う。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

### ◇運営（シフト 等）

- ・

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ボランティア相互で実施。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 入場料を免除。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 館内への常駐、対応外国語の多様化（特に韓国語、中国語）を検討中。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ②堅穴住居復元サポーター

### ◇活動開始年

- ・ 2004年

### ◇活動人数

- ・ 13名(2005年)

### ◇活動内容

- ・ 文化庁芸術拠点形成事業による野外展示物(堅穴住居復元)構築作業に、館職員、外部専門家とともに参加して頂く。

### ◇活動日

- ・ 不定(ボランティア参加可能日にて調整)。

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

### ◇運営(シフト 等)

- ・

### ◇交流(情報、組織 等)

- ・

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

### ◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 作業時に、随時指導。

### ◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 保険に加入。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : 睦沢町立歴史民俗資料館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1982年4月15日

### 所在地

- ・ 〒299-4413 千葉県長生郡睦沢町上之郷 1654-1

### 公式サイト

- ・ <http://www.town.mutsuzawa.chiba.jp>

### 設立主体

- ・ 睦沢町

### 運営主体

- ・ 睦沢町教育委員会

### 設立目的

- ・ 「古仏と伝説の里」をテーマに、町内に所在する考古、歴史、民俗、自然の文化財を収蔵し、保護、保存するとともに、教育的に活用することを目的とする。

### 展示概要

- ・ 常設展示は、「1. 生活と道具」「2. 古代の足跡」「3. 戦いの時代」「4. 信仰を考える」「5. 歴史を読む」「6. 自然との対話」
- ・ その他、吉良氏資料、本町郷土史研究家江沢半氏コレクションの展示も行っている。

### 活動概要

- ・ 特別展、企画展、歴史講演会、文化財講座、子ども歴史教室を開催。
- ・ 文化財全般の調査研究、埋蔵文化財調査を実施。

### 延床面積

- ・ 700 m<sup>2</sup>

### 全職員数

- ・ 3名

### 年間運営費

- ・ 約2,600千円

### 総資料点数

- ・ 5452点(2004年)

### その他

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：歴史民俗資料館友の会ボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 1995 年、特別展「ミニチュアで見る民家とメルヘンの世界」が開催された際、友の会の会員有志によって行われた「草団子作り」が契機となって、以後の行事でも同様の企画が行われるようになった。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年） ※人数不定
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤 名・その他（臨時職員）1名

### 活動の種類

- ・ ①体験講座の補助、②発送作業の補助、③館周辺の整備。

### 活動その他

- ・ 友の会事務局から、会員に案内を郵送して、募集。
- ・ 館の保険で対応。
- ・ 100 人前後いる会員の中で、参加するのは 10 名前後だが、意識は高い。

### 関連する出版物

- ・ 友の会会報「グローバル 21」、友の会連絡紙「でんごんばん」。

### 関連するHP

- ・

### 館外組織（NPO等）との連携

- ・

## 活動個別シート ①体験講座の補助

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・           名 (           年)

◇活動内容

- ・ 草団子とちまきなどのサービス。
- ・ 発掘体験のサポート。
- ・ イベントの会場整備。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・



## 活動個別シート ②発送作業の補助

◇活動開始年

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 名 ( 年)

◇活動内容

- ・ 特別展のポスター折と発送作業。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

### 活動個別シート ③館周辺の整備

◇活動開始年

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 名 ( 年)

◇活動内容

- ・ 草刈り、花の植栽。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....  
**館園名** : 八千代市文化伝承館

### **1. 施設の概要**

#### **開館年月日**

- ・ 1996年05月21日

#### **所在地**

- ・ 〒276-0043 千葉県八千代市萱田 460-3

#### **公式サイト**

- ・ <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/sisetu/densho.html>

#### **設立主体**

- ・ 八千代市

#### **運営主体**

- ・ 八千代市教育委員会

#### **設立目的**

- ・ 市内に残る無形の民俗文化と、日本の伝統文化の保護、継承、育成、振興発展させることを目的に、飯綱神社境内に設置。

#### **展示概要**

- ・ 飯綱神社の歴史や文化財および祭に関する資料、獅子舞・神楽に関する資料、市内に残る儀礼行事の資料など、各地域から借用や寄贈を受けたものを展示。

#### **活動概要**

- ・ 八千代市文化伝承館だより〈継〉、民俗文化の情報パンフレット「未知草」を発行。

#### **延床面積**

- ・ 383.95 m<sup>2</sup>

#### **全職員数**

- ・ 4名

#### **年間運営費**

- ・ 4,882千円(2004年度)

#### **総資料点数**

- ・ 100点

#### **その他**

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：八千代市文化伝承館ゆい（結）の会

### 活動目的・経緯

- ・ 文化伝承館での伝承文化を次世代に継承する。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 58名（2004年）
- ・ 男性：18名、女性：40名（2004年）
- ・ 平均年齢62歳：男性64歳、女性62歳（2004年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：文化伝承館 担当人数：常勤 名・その他（非常勤社会教育指導員）2名

### 活動の種類

- ・ ①館主催事業のサポート、②小中学校での学習支援活動。

### 活動その他

- ・ 予算100,000円（2004年度）
- ・ 行事ごとに運営。
- ・ 館主催行事などで交流。
- ・ 市広報紙や館内チラシ等で、随時募集。
- ・ 定年・任期制、とくになし。
- ・ 支援内容により、事前研修を実施。
- ・ 茶菓子を支給。
- ・ 高齢者が多いので、健康面での注意が必要。
- ・ 男性の加入を促進したい。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート ①館主催事業のサポート

### ◇活動開始年

- ・ 1998 年

### ◇活動人数

- ・ 58 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 八千代の伝承文化を習おう (昔遊び編・紙芝居編)。

### ◇活動日

- ・ 土日を中心に活動 (依頼があれば、平日にも活動)。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 予算 100,000 円 (2004 年度)

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 行事ごとに運営。

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 館主催行事などで交流。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 市広報紙や館内チラシ等で、随時募集。
- ・ 定年・任期制、とくになし。

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 支援内容により、事前研修を実施。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 茶菓子を支給。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 高齢者が多いので、健康面での注意が必要。
- ・ 男性の加入を促進したい。

### ◇その他

- ・

## 活動個別シート ②小中学校での学習支援活動

### ◇活動開始年

- ・ 1998 年

### ◇活動人数

- ・ 58 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 昔遊びの指導や道具作り、昔話の紙芝居作りや語りなど、小中学校での学習支援活動を行う。

### ◇活動日

- ・ 依頼のあった日。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 予算 100,000 円 (2004 年度)

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 行事ごとに運営。

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 館主催行事などで交流。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 市広報紙や館内チラシ等で、随時募集。
- ・ 定年・任期制、とくになし。

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 支援内容により、事前研修を実施。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 茶菓子を支給。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 高齢者が多いので、健康面での注意が必要。
- ・ 男性の加入を促進したい。

### ◇その他

- ・